

テックドクターによる現地調査(桜島:鹿児島県鹿児島市)

<概要>

- ・令和4年7月24日20時05分に噴火した桜島について、噴石が火口から2.4kmを超えて飛散したことで噴火警戒レベル5が発令された。
- ・火山噴出物による土砂災害の切迫状況等を把握するため翌日(7月25日)、TEC-Doctor(鹿児島大学 地頭菌教授)及び国交省職員が防災ヘリ「はるかぜ号」による上空からの調査を実施した。

噴火状況



現地調査状況



記者レク状況(鹿児島空港)



<調査内容>

降灰範囲、土石流発生の可能性等、桜島南岳周辺の上空より目視による調査

<助言内容>

- ・降灰が想定された桜島東側の斜面も緑が比較的鮮明に見えており、垂水山地を含めてそれほど降灰していない。
- ・噴火に伴う降灰に関しては、少ない雨での土石流の心配はない。また、大雨による土石流に対しても警戒レベルを高める必要はない。